



「湘南スタイル」の「湘南の暮らしと家」のコーナーで G邸が取材されました。

「鎌倉の山を間近に光と緑を感じられる家」
自然環境が豊かなことは、何にも変えがたい。
自然のひとつひとつに魅力を感じます。多少の不便はあるけど、空気がおいしいことは、何にも変えがたいです。帰ってくるとホッとしますね。
インテリアのお上手な奥様はとっても自然との暮らしがお上手です。真似したいインテリアのアイデアがいっぱいですね。





鎌倉の緑に囲まれた自然豊かな場所にあるこの家に住むのは後藤田吉行さん(38)、安子さん、哲平くん一家。郡内で幼稚園の仕事をしている後藤田さんは、仕事の関係で全国を転々としてきた。しかし、それも落ち着き、子供の環境を考えると自然豊かな鎌倉で家を持つことを決意した。両親の自然が豊かな環境で育った後藤田さんは、同じように海と山がある鎌倉に魅力を感じ、アウトドア好きな安子さんも大賛成。そして、特に山が好きだった後藤田さん夫妻は、鎌倉の中でも山間のこの土地に決めたのだ。

自然環境が豊かなことは、何にも変えがたい。



土地が決まる。一家で鎌倉に引っ越し、家が完成する前に、「足元に鎌倉暮らしをスタートさせた。家づくりは、要望に答えてくれたようとおきらずに対応してくれたいユトリノスペースに依頼。家族の存在を生活の中で感じられる家」と、室内は機材が揃った、どこにいても家

庭を感じられるように、そして、緑田野で光と緑を感じられる家」と、大きく開けた窓から見える美しい自然とさわやかな風が入り込む家となった。あとで後悔してなかつたので、わかまは放り投げた。でもそれに応えてくれて本当にありがたいです。」と安子さん。

休みは家の前の山で散策したり、家で過ごすことが多い後藤田さん一家。この場所を選んだ一番の理由が、周囲の自然環境。暮らしの中、自然と個性の調和に迫られた時、後藤田さん夫妻は迷わず環境を選んだ。「自然のつづつとつに魅力を感じます。多少の不都合はあるけど、空気感がいいし、何にも変えがたいです。帰ってこるとホッとしますね。」

家づくりの暮らしがどれ程充実しているかわかると、お話を聞くと、思い描いていた暮らしがここにはあったのだ。

1. 環境化対策としてキッチンで過ごすことも、環境にいいだけでなく、意外と楽しいのだが、2. ワークスペースとイスは自然の家高級オーダー、3. フォーティンが気に入っているから材料なども、味がいいが、哲平くんにも受け継げるようにいいモノを選んで、石の配列が好きだった

安子さんは、真ん中にあったらいいなと思ったキッチンを探した。3層階は、4. キッチンとリビングに連れた景色は、家族のコミュニケーション。生活の場を味よく感じることにより、お互いの存在を感じられる。自然のようど調和に整った。自然の存在を感じられる。

